

オロロンライン・サイクルルート



○サイクルツーリズムの振興による、「サイクリストに優しい地域づくり等の自転車観光まちづくりの実現」・「自転車以外のアクティビティとの連動・連携によるアウトドア観光の総合的創出」・「隣接ルートとの接続による広域サイクルネットワークの実現」を目的に令和4年度に「オロロンライン・サイクルルート連絡会議」を設置し活動

オロロンライン・サイクルルート連絡会議

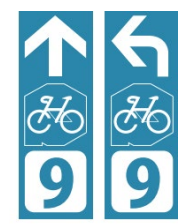
- 管内連携強化により、情報発信や受入環境整備を実施
- メンバー（留萌観光連盟、シーニックバイウェイ北海道 萌える天北オロロンルート、るもいアウトドア観光ネットワーク会議、行政等）

快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

- 路面表示(矢羽根)による安全対策
 - 車道における自転車通行位置を自転車利用者とドライバーの双方に示し「安全」な走行環境を確保するため、ルート上の主要な交差点部、急カーブの手前等に設置
- 統一的なルート案内
 - 道路付属物(道路標識、道路照明、固定式視線誘導等)の支柱に、案内看板を貼付。
- 地域協働による走行環境整備
 - 連絡会議構成員による「サイクルコース点検会」を継続的に実施し、走行環境整備に反映する。



(矢羽根型路面表示設置箇所)



(案内看板)

サイクルツーリズム推進のための取組

- サイクルコースの開発を官民連携で実施
- 移動サポート体制の構築
- あらゆる世代が自転車に乗れる環境を創出
- 情報発信(HP、マップ)の充実



サイクリスト応援カー



自転車お守りカード

- サイクリスト応援カーと称し、道路・河川巡回車に自転車工具を搭載。サイクリストのトラブルに対応する「動くサイクルステーション」として実施。
- 自転車お守りカードを道の駅等で配布。お守りの裏面にはサイクリスト応援カーの紹介



オロロンライン・サイクルルート

・地域の魅力を満喫し、地域振興に寄与するサイクルコースを官民で試走しながら開発



留萌川サイクリングルート

・既存の河川堤防コースの磨き上げとして、仮設の案内看板を官民連携で設置。あらゆる世代が自転車に乗れる機会を創出

全長約145km

凡 例

- サイクル基幹ルート
- 自動車専用道路
- 一般国道
- 主要道道・一般道道
- 道の駅
- 港
- JR駅
- ゲートウェイ

